



紫波ツーリズム協議会

「食」と「農」をつなぐ 体験から「地産地消」を学ぶ



- 1 紫波町には、観光果樹園が多く、摘み取り体験が可能。
- 2 町内産ぶどうを原料とした自園自醸ワインをつくっている「紫波フルーツパーク」。体験工房では、そば打ち、ピザ、ソーセージづくりが体験できます。
- 3 ものをつくって食べる楽しみを体験。ピザづくりは、子どもから大人まで気軽に体験できるプログラムです。



果物や野菜の収穫 地産地消を体験する

近年、「地産地消」「生産者の顔が見える農作物」が求められるようになってきました。産直が多く、「食」や「農」の結びつきが強い紫波町では、これを地域資源としてとらえ、県内外との交流を行っています。

紫波町では、稲作、野菜、そばなどの雑穀類など、多種の農作物を育てていますが、特にリンゴやブドウ、ラ・フランスなどのフルーツの栽培が盛ん。季節になる

と、産直には旬の果物が並び、甘い香りを漂わせています。町内には多くの体験プログラムが用意されていますが、「紫波フルーツパーク」では、紫波町の特色を生かした収穫体験を実施。体験工房では、ジャムやソーセージ作りも行っています。

その他、町内では各種農業体験、農家民泊も行っています。収穫する楽しさ、つくって食べられる楽しさから、「食」と「農」のつながりを体験してみたいはいかがでしょうか。

紫波町を知るキーワード



もちの里

農業の盛んな紫波町は、全国有数のもち米品種「ヒメノモチ」の生産地。産直では、手づくりの大福や団子といった餅菓子がずらりと並んでいます。また、この紫波町産のもち米をハムで挟んで揚げた「紫波もちりハムカツ」はB級グルメとして人気上昇中！またもち米を食べさせた「岩手しわもちもち牛」もブランド牛として好評です。



産直のまち

紫波町は、町内に産直が10カ所もある「産直のまち」。農産物の販売のほか、紫波特産の果実を使ったジュースなどの加工品も販売しています。それぞれ特徴が異なり、地場産品を使った食事を提供する産直もあり、産直巡りという楽しみ方もおススメ。http://www.shiwa-brand.com/

DATA

紫波ツーリズム協議会 [紫波町]

TEL 019-671-2244 (紫波中央駅前紫波みらい研究所内) 受入期間/通年 定員/20名 (それ以上の場合は要相談) 体験料/民泊: 内容により異なる 日帰り: 内容により異なる 体験プログラム/各種農作物の収穫、郷土食づくり、地域との交流

おすすめ スポット



オガール紫波

農村と都市が共存するまちがテーマの官民複合施設。図書館などの公共施設のほか、産直「紫波マルシェ」や飲食店、スポーツ施設、宿泊施設「オガールベース」などがあります。行政と民間が協同して運営している好事例として、全国から注目を集めています。

〒 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前 2-3-3
☎ 019-681-1316 (オガールプラザ株式会社)



矢巾町歴史 民俗資料館

国指定史跡「徳丹城」に隣接。矢巾町の遺跡や歴史、暮らしに関するものが展示され、学びの場としても好評です。

〒 岩手県紫波郡矢巾町大字西徳田第3地割 188-2 ☎ 019-697-3704 9:00~16:30 月曜 (祝日の場合は翌平日)、年末年始 ☎ 一般160円、小・中・高生60円 (団体割引あり)